

SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ 週報 No.25

2005.2.8(No.2352)

第2560地区ガバナー／横山 芳郎
 会 長／渡邊 喜彦
 会長エレクト／小越 憲泰(クラブ奉仕A)
 副 会 長／渡辺 勝利(クラブ奉仕B)
 幹 事／五十嵐 寿一
 S A A／船越 正夫
 会 計／荻根澤 隆雄

例会日／毎週水曜日12:30～
 例会場及び事務局／
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押ししてください)

本日の出席会員数:68名中48名
 先々週出席率:76.12%

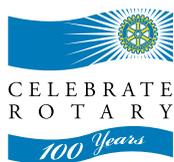
【先週のメイクアップ】

【2.8】三條北RCへ

- ・渡邊喜彦さん、石橋育於さん、
- ・五十嵐晋三さん、浅野金治さん、
- ・成田秀雄さん

【2.8】田上あじさいRCへ

- ・成田秀雄さん



「ロータリーを祝おう 100年の歩み」
 2004～2005年度国際ロータリーのテーマ

3クラブ合同 ロータリー100周年を祝う会

渡邊喜彦会長挨拶



みなさん今晚は。本日はロータリークラブが発足して100年を迎える記念すべき式典に、公務ご多用の中「三條市長 高橋一夫様」「三條教育委員会教育長 松永悦男様」「三條市立四日町小学校長 渡部則夫様」「三條市立月岡小学校長 月岡茂久様」「三條市立条南小学校長 渡辺利男様」「三條市立

南小学校長ならびに三條市立南幼稚園長の伊藤みさ子様」「三條市立第一中学校長 山田俊彦様」そして同じく「三條市立本成寺中学校長 根津直久様」、おいでくださいまして誠にありがとうございました。

また、会員各位におかれましても一日の仕事が終わりお疲れのところ多数御参集頂き誠にありがとうございました。

私は、三條ロータリークラブ本年度会長の渡邊でございます。後ほど、細井アシスタントガバナーよりご挨拶がございますので、せっかくの機会ですので、簡単に皆様方の代表として一言ご挨拶を申し上げます。

さて、我々ロータリークラブは1905年(明治38年)2月23日アメリカ・イリノイ州シカゴにおいて、青年弁護士ポール・ハリスが友人3名と共に発足させたのが始まりです。以来100年という長い年月を経て今日を迎えることができました。本日はそれから丁度100年を迎える本年2月23日に先立ち、我が2560地区第四分区の三條にございます3つのクラブが合同でそのお祝いの行事を行うこととなりました。発足以来我がロータリークラブは、それぞれ会員自身の人間的資質の向上に努力し、企業経営の健全化、そして何よりも社会の一員としての奉仕の理想に燃え、日夜努力を重ねてまいりました。

世界中の多くの功績を振り返るたびに、ロータリークラブの偉大さと諸先輩方の努力と実績に深く敬意を表するとともに、改めて自分自身の研鑽努力の必要性を深く認識する次第です。

このたびの思いがけない多くの災害に、我々ロータリークラブとして何を成すべきか、と問いかけたときすかさず会員の皆様は躊躇無く、自分の持っている私財をなげうって多くの方々の為に奉仕協力していただきました。

本日、100周年を迎えるにあたり改めてロータリークラブの原点に立ち返り、我々の日頃提唱しております、職業奉仕を通じて大いに社会奉仕をしてまいりたいと思います。

われわれも企業も、そしていろいろな団体も年月を経て成長、発展してまいります。

その成長には欠かせない節目の年がございます。その節目の意義は、「改めて原点にもどり創業・創始のころを思い、今後の新たなるスタートに立ち返る」大切な行事であると心得ます。本会の記念すべき式典とお祝いは、そういう意味で改めて100年前の原点を作ってくださいました方々の思いに立ち返り、次なる100年つまり200年に向けての心新たなスタートの時でもあります。皆様方と本日は、そうした心で本日の式典を祝い、共によるこび合いたいと思います。

本日は、どうぞよろしくお願ひ申し上げ、3クラブ会長を代表致しましての挨拶とさせていただきます。

アメリカ・シカゴにロータリークラブ

三条市3つの
ロータリークラブ 合同で百周年祝う記念例会

総額1千万円の備品、設備

7・13水害被災の7施設(小中学校
幼稚園)に

百周年にあたって

細井増雄アシスタントガバナー



今年度、第四分区のアシスタントガバナーをやらせていただいている、三条ロータリークラブの細井増雄です。ロータリークラブ百周年の歴史とRI会長グレンE. エステス氏のテーマと、地区の百周年に対する考え方、また、私の私見もふまえて、スピーチをさせていただきます。

百周年ということで、先ほど三条ロータリークラブの渡邊会長から、1905年にシカゴでロータリークラブが発足したとお話がありました。これは、すべてのロータリアンが知っておられるはずでございます。それからの100年が今年に当たるわけですが、日本のロータリーの歴史を少し申し上げますと、1905年にシカゴで発足してから、15年遅れの1920年(大正9年)に東京ロータリークラブが発足しました。それ以来、大阪、名古屋、神戸と続き、今、ロータリークラブは、会員が110万人、クラブ数は、およそ2,000近くになりました。

新潟県のロータリークラブの歴史は、昭和15年5月に新潟ロータリークラブが発足しました。これは、全国で55番目にあたります。実は、その新潟ロータリークラブが、日本のロータリークラブの、戦前の最後のクラブです。戦後初めて出来たクラブが、昭和24年に尾張一宮のロータリークラブです。したがって、昭和15年から昭和24年の9年間は、第二次世

界大戦のためロータリー活動は、一時ストップしていました。我が三条ロータリークラブは、新潟県で7番目、日本国内で204番目に出来たクラブです。三条南ロータリークラブさんは、三条ロータリークラブが、十周年のときにスポンサーになって出来たわけですが、日本国内で870番目、北ロータリークラブさんは、1470番目に出来たクラブです。現在、新潟県だけで、2560地区、56クラブあります。これは、すべてロータリーの友に書いてありますので、是非ご覧下さい。

RI会長グレンE. エステス氏の今年のテーマは、「ロータリーを祝おう」ですが、この会長の言葉を借りますと、「100年に及ぶロータリーの親睦と奉仕には、祝うに足る十分な理由があります。百周年にあたる、私たちの年度に、私は、全ロータリアンに向かって、一緒にロータリーを祝おう、とお願ひしたいのです。私は、ロータリアンの皆様に、過去の成功の自己満足ではなく、現在の困難への、新たな危機感を持って、『ロータリーを祝おう』と呼びかけています。何十年に渡る奉仕によって、私たちは、自然災害と、新たなる恐ろしい病や、残忍な紛争に取り巻かれた世界において、人類が必要とする、ことの重大さを知らされました。ロータリーを祝う最善な方法の一つは、私たちの100年の経験の重みを十分に活かし、それらの莫大な人道的需要に取り組むことでしょう。まず、第一に、『超我の奉仕』を進めることで、ロータリーを祝おうではありませんか。」これが会長の言葉ですが、百周年ということで、どこかの会社が、あるいは、どこかの団体の百周年と同じことではなく、「超我の奉仕」を超えた奉仕で、百周年を祝ってほしいということです。

地区としては、百周年のロータリー活動のPRを、2月23日の新潟日報の一面を借りて行います。但し、それ以外の活動は、各クラブの自主性にお任せするので、何か一つ行事をやり、百周年を祝おう。というのが、第2560地区のガバナーの方針です。したがって、個々の分区、あるいは、個々のクラブでそれぞれ百周年の行事が行われているようです。

私どもは、百周年記念IMを企画しておりましたが、昨年の水害・地震などがあり、第4分区会長、幹事会におきまして、第4分区すべて集まって、盛大にやる事もどうか、ということで、地区の了解を得て、見合わせることにしましたが、記念の行事は、各クラブで何かやって欲しいということですので、本日、三条3クラブが、合同で一つの記念例会を行うに至ったわけです。記念祝賀会としなかったのは、RI会長の方針に沿って、皆で祝う意味が、奉仕を考えた祝い方でやりたいということですので、記念合同例会とさせていただいたことを、ご理解いただきたいと思ひます。今後とも、RI会長の意向に沿った「超我の奉仕」をもとに、これからもロータリー活動を続けていただきたいと思います。皆様方も、ロータリアンであれば、ご存知のことと思ひますが、なにとぞ、ご協力をよろしくお願ひいたします。

実は、最初はあまり盛大な祝典はなるべく控えて、

自分たちのロータリー活動のPR程度にして欲しいというのが地区の方針でしたが、水害・地震などで、すべてのことが、自粛ムードになっていました。したがって、皆様方が夜お出かけになるところが暇で、非常に困っているため、地区の方針を変え、去年の年末は、各クラブで、アルコールの入った、記念例会をして欲しいということでした。今日は奉仕のための祝う会と同時に、盛大にお祝いするわけではありませんが、ちょっとアルコールを入れていただいて、今後のロータリー活動の糧にしていきたいと思えます。

私は、落語が好きなので、一つ都々逸を申し上げます。「この先を やめちゃあいやだよ 飲ましておくれ まさか しらふじゃ 言いにくい」これは男女の仲を扱った都々逸ですが、ちょっぴりアルコールが入りますと、好きなことが言えます。今日は、皆様方に大いに飲んでいただいて、今後のロータリー活動について、盛んに議論していただき、また、ごゆっくりとご歓談いただきたいと思えます。これで、私の百周年の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

三条市長 高橋一夫様

皆様こんばんは。

国際ロータリー創立百周年、大変おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。先ほどの会長さんのご挨拶にもありましたように、今から100年前に、当時のシカゴの荒廃を憂いて、若き弁護士、ポール・ハリスが、仲間と語り、自分たちの会社を回り回って会場とし、始めたのがロータリーの始まりであります。一業種一人、また、「私が奉仕する」という崇高な理念の下に国際奉仕・社会奉仕・職業奉仕という各分野で、奉仕をされてきました。「私が奉仕する」であるがゆえに、孤立しがちな会員同士をサポートし、また、情報交換をするという意味で、親睦という会が非常に大きなウエートを持っているというのがロータリーだということを、つい最近までロータリアンでしたので、その時に勉強させていただきました。先ほどの会長さんのお話とぴったり合っていたので、間違いはなかったなあと安心致しました。

当時のシカゴと、今の日本を比べると、物質的に比べると、何倍、何十倍も今の日本が豊かになっているんだろうと考えます。しかし、心の荒廃という形からすると、今の日本の方が当時のシカゴよりもより以上に社会現象から行くと、深刻になっているような気がしてなりません。ということは、皆様方のお仕事が、より以上に、地域に求められている時代なのだろうという風に感じています。私ども行政も住みよい町作りに頑張っているわけですが、皆様方から、更なるご協力をいただきたいと思っております。

昨年の7・13水害では、今日ご出席の皆様方の中にも、直接的・間接的にいろいろな形で被災された方が多くいらっしゃると思います。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復を願って止

みません。その時も、皆様方は勿論のこと、県内外からロータリーの方が大勢おいでいただき、ボランティアとして被災者の方々の泥出しや、いろいろな形でご援助いただきました。また、ロータリーアクトの諸君からも壊れた公園の復旧という形で、お力をいただきました。重ねて御礼を申し上げる次第です。同時にまた今日は、被災した幼稚園、小・中学校の子どもたちに夢を与えたいと、たくさんのご寄付をいただきましたことに御礼を申し上げます。きっと、皆様方の、子供たちに夢を、というその願いが、水害にあって心を病んだ子供たちの心を癒し、そしてまた、大きな夢を与えてくれるものと私も確信しています。最後になりますが、皆様方の、ますますのご繁栄とご発展、弥栄と、各分野における奉仕活動をさらに盛んにしていただくことをご記念申し上げ、お祝いと、御礼の挨拶とさせていただきます。大変ありがとうございました。



三条市教育委員会 教育長 松永悦雄様

三条市教育委員会の松永でございます。

今日は、国際ロータリー創立百周年をお祝いいたしまして、三条市内3つのロータリークラブの皆様方の合同の集いが、このように大勢の方々が盛大に行われますこと、本当におめでとうございます。また、このような晴れ晴れしいところにお招きいただき、大変ありがとうございました。

私は、三条市内に3つのロータリークラブがあって、それぞれが独自の素晴らしい活動をなさっていらっしゃるということを伺って、存じていましたが、本日このように大勢の方々がご自分の事はさておいて、地域の奉仕や、あるいは子供たちの為に尽くされていらっしゃることを目の当たりにいたしました。深く敬意を表し、感動をいたしました。今日は、その奉仕の一環として7・13水害で被災した、嵐南地区の小・中学校と幼稚園に、本当に多大なご寄付をいただきました。大変ありがとうございました。本日列席しております、校長ともども心から感謝申し上げます。皆様方の、この温かい気持ちをお子たちに伝え、子供たちはこの災害で、大きな困難や、苦しみを味わったことと思えますが、皆様のご趣旨をお子たちに伝える中で、そういう困難を乗り越えて、大きく羽ばたいていくことを期待

しているところでございます。今日、ご出席されている校長先生方もそれらを、十分子供たちに伝え、より良い、これまで以上の充実した、教育活動を展開していくものと思っております。

脚本家の倉本聡さんは、役者を演出する中で、役者を育てることについて次のように話しています。「役者を育てるということは、半年や1年で収穫を上げる農業感覚では出来ない。手間や時間をじっくりかけ、地面にしっかりと根を生やし、大きく、たくましく育てる林業感覚でなければならない。」と述べていました。私も、学校教育は、そうではないかなと思っております。これからの時代を背負っていく子供たちに、人間としての基礎・基本をしっかりと植えさせて、そして、たくましく、大きく健やかに育てていく林業感覚が大事なのではないかなと思っております。そういう意味で、義務教育段階に置けますこの小・中学区において、あるいは、その基礎となる幼稚園におきまして、子供たちの基礎をしっかりと皆様方の、本日頂いたご厚意を糧にしながら、築いてまいりたいと思っております。今後とも皆様方は、地域の牽引車としてあるいは、まもなく誕生する、新市の発展の為に、そして、未来を築く子供たちの為に更なるご尽力、ご指導、ご支援を賜りたいと思っております。最後になりましたが、ロータリークラブさんのますますのご発展と、ご参会の皆様方のご活躍、ご健勝を心から御記念申し上げます、本当に、言葉が足りませんけれども、今日のお祝いと、御礼の挨拶とさせていただきます。本日は、本当にありがとうございました。

ニコニコ BOX

渡邊喜彦さん

本日は御来賓の方々、ありがとうございました。お陰様でロータリークラブでも100歳を迎える事が出来ました。今後も我々一同社会の為に大いに貢献してまいります。

細井増雄さん

皆さんで100周年を祝おう。

若槻八十彦さん、松永一義さん、渡辺勝利さん、五十嵐晋三さん、松谷昊吉さん、五十嵐力さん、五十嵐寿一さん、永井敏行さん、伊藤寛一さん、佐野勝榮さん、船越正夫さん、杉山幸英さん、菊池 渉さん、西山徳厚さん、山田富義さん、高森章仁さん、樺山 仁さん、斎藤弘文さん、平原信行さん、橘 直樹さん、佐藤 武さん、小柳直人さん、石月良典さん、丸山行彦さん、日戸平太さん、吉井俊介さん、清水良一さん、会田二郎さん、渋谷健一さん、広岡豊作さん、明田川賢一さん、熊倉昌平さん、中村和彦さん、金子俊郎さん、小越憲泰さん、浅野金治さん、本間道夫さん、外山雅也さん、渋谷正一さん、早川昭雄さん、石塚欣司さん、石橋育於さん

ロータリー創立100周年おめでとうございます。

2月8日分 ￥ 54,000
今年度累計 ￥ 665,000



目録を受け取る月岡小の月岡校長

次週例会 2月23日 外部卓話
三条美術協会 中村城翠様

次々週例会 3月2日 会員卓話 渡辺勝利様

